

地方独立行政法人名張市立病院財務会計システム構築 公募型プロポーザル方式に関する質問及び回答

質問	回答
クライアント端末は市立病院(8台)及び市立看護専門学校(2台)とのことですが、最大同時起動数をお教え願います。	最大で市立病院で4台、市立看護専門学校で1台の計5台を同時に起動することが想定されます。
業務仕様書「6. システム機能要件」について	
(1) 予算編成 予算調書とは、具体的にどのような帳票を想定していますか。	(1) 予算編成 法人が予算を作成する際、システムに入力した収入及び支出の額を元に、損益計算書、貸借対照表及びキャッシュフロー計算書の各項目の金額を計算し帳票に出力すること。その際は、それぞれの帳票の形式で出力できることが望ましい。
(2) 経理業務 債権者と振込先口座以外に想定しているデータがあれば教えてください。	(2) 経理業務 現時点で、他に移行すべき分量の多いデータは想定されませんが、部署マスタ(市立病院及び市立看護専門学校)は引き継ぐこととします。
(4) 固定資産管理 固定資産は再評価され、法人化した令和7年10月時点の期首残高の情報で移行するという認識で良いでしょうか。	(4) 固定資産管理 お見込みのとおりです。
(5) 起債管理 想定されている支援の内容を教えてください。	(5) 起債管理 起債管理データを新システムへ移行するにあたり、Excel 形式等で出力した既存のデータを加工し、又はシステムへ取り込む際に、担当者の求めに応じてシステム上の処理や必要な助言を行うことを想定しています。
(6) その他 法人設立時とは、令和7年度下期の予算書でしょうか。それとも、令和8年度当初の予算書でしょうか。また、システム関連の支援という認識で良いでしょうか。	(6) その他 令和7年度下半期(令和7年10月～令和8年3月)の予算書とします。支援の内容は、法人の開始貸借対照表及び令和7年度上半期の収支に基づいて、システム上で予算の入力及び出力を行うために必要な支援とします。